

令和7年度 行政委員会事務局X方針(概要)について

■ 組織の使命

行政委員会事務局は、専門的かつ中立的な第三者機関である人事委員会、選挙管理委員会、監査委員の事務局である。

人事委員会では、市の職員採用試験等を実施し、職員の人事・給与制度や勤務条件の改善に向けた勧告などを行う。

選挙管理委員会では、選挙の適正な執行を管理し、選挙に関する啓発・周知を行うとともに、投票環境の向上など、有権者が投票しやすい環境づくりを行う。

監査委員では、市の事務執行等を監査することで、事務・事業の適法性や公正で効率的な行政運営を確保するとともに、市政に対する市民の信頼性向上に寄与する。

■ 行政委員会事務局X方針について

(1) 課題数 全4件

課題領域	Aレベル	Bレベル	Cレベル
課題数	1件	2件	1件
政策分野	監査	人事、選挙	選挙

Aレベル……行政サービスにおける現場の改善等にかかる課題

B・Cレベル……政策的な変革課題(Cはより広域、将来を見据え、全庁横断的な視点を要する等)

(2) 主な課題・取組内容等

・課題 A 監査事務の重点化(資料1の P4)

○監査事務を行うにあたり、内部統制と連携するとともに、リスクの高い事務(契約事務など)へのリスクアプローチ監査や、3E(経済性、効率性、有効性)の視点による改善提案型の監査を重点的に実施する。

・課題 B 将来の市政を担う人材の確保ができる採用試験の見直し(資料1の P5)

○より多様で有為な人材の確保ができる採用試験への見直し(特に人材確保が困難な職種の新たな採用手法についての調査検討)を行うとともに、リクルート活動を展開する。

・課題 B 選挙事務(投票所)の人員配置の見直し(資料1の P7)

○投票所における選挙事務従事者(市職員)の人選にあたっては、選挙事務経験者等の属人に対する「個別依頼方式」で行っているが、従事者の一部が集まりにくいといった課題がある。安定的に選挙事務従事者を確保するため、R7年度の参議院議員選挙から段階的に現在の「個別依頼方式」から「各局区の所属割当て方式」へ変更していく。

・課題 C 若者世代(20代)の投票率向上(資料1の P8)

○若者世代の投票率向上のため、

- ・大学生、若者団体などからの意見聴取及び先進事例研究
- ・県選挙管理委員会と連携した高等学校等に対する主権者教育への協力依頼
- ・継続的な若者世代の政治意識向上活動を可能とするしくみづくり検討を行う。